

《タイムテーブル》

◎トラック競技						
	種別	性別	種目	組数	競技開始時間	招集時間
1		女子	1500m	4 組	9:00	8:45
2		男子	1500m	7 組	9:35	9:20(1～4組) 9:50(5～7組)
3		女子	400m	3 組	10:30	10:15
4		男子	400m	7 組	10:40	10:25
5		女子	100m	20 組	11:10	10:55(1～10組) 11:20(11～20組)
6		男子	100m	41 組	12:00	11:45(1～10組) 12:10(11～20組) 12:35(21～30組) 13:00(31～41組)
7	中学	女子	100mH	3 組	13:40	13:25
8	高校一般	女子	100mH	2 組	13:55	13:40
9	中学	男子	110mH	2 組	14:05	13:50
10	高校一般	男子	110mH	2 組	14:15	14:00
11		女子	800m	10 組	14:30	14:15(1～5組) 14:50(6～10組)
12		男子	800m	6 組	15:40	15:25(1～3組) 15:45(4～6組)
13		女子	3000m	1 組	16:25	16:10
14		男子	5000m	1 組	16:40	16:25
14				2 組	17:05	16:50

◎フィールド競技						
	種別	性別	種目	人数	競技開始時間	招集時間
1		女子	走幅跳	42 人	9:00	8:30
2		男子	走高跳	30 人	9:00	8:30
3	中学	女子	砲丸投	20 人	9:30	9:00
4	高校一般	女子	砲丸投	2 人	9:30	9:00
5	中学	男子	砲丸投	14 人	13:00	12:30
6	高校	男子	砲丸投	8 人	13:00	12:30
7	一般	男子	砲丸投	1 人	13:00	12:30
8		男子	走幅跳	85 人	13:30	13:00
9		女子	走高跳	35 人	13:30	13:00

※走高跳（男女とも）は、A・Bの2ピットで実施します。

スプリング駒場 2022 大会における感染症防止策について

1 感染症防止策について

(1) 健康管理について

- ① 来場者は開催 2 週間前から検温を行い、体調の管理を行う。
- ② 体温 37.5 度以上の場合は、来場しない。

(2) 参加者の提出書類

- ① 「参加同意書」各団体で 1 枚当日受付に提出（個人参加も同様）して下さい。
「大会前体調管理チェックシート」は責任者（顧問）が当日集めて保管。
未成年個人参加の場合は、保護者が保管。
「大会後体調管理チェックシート」は、大会終了後各自記入保管。

(3) 会場の使用について

- ① 競技者の入退場はゴール側ゲートを使用する。その際、2 つに分け右側通行となるようにする。
- ② サブグラウンドを使用する際、入場は駐車場側とし、退場は本競技場側とする。
- ③ 以下の箇所に手指消毒用のアルコールを設置し、来場者の手洗い及び手指消毒の徹底を図る。
 - ・メインスタンド正面玄関（1 か所）
 - ・バックスタンド下トイレ（男女各 2 か所）
 - ・サブグラウンド入口（1 か所）
 - ・メインスタンドゴール付近ゲート（1 か所）

(4) 用器具の扱いについて

- ① ハードルを含む用器具の準備の前後は手洗い・手指消毒を実施する。
- ② 使用後は必ず消毒する。

(5) 役員について

- ① 原則としてマスクを着用する。
- ② 健康チェックを確実にを行い、チェック後はリストバンドを装着する。
- ③ 密を避けるため、控室はレセプションルームとする。

(6) 競技者について

- ① 競技中、ウォーミングアップ中等の運動時や呼吸が荒い時を除き、マスクを着用する。マスクを外す際はソーシャルディスタンスをとる。
- ② 来場時、トイレ使用の前後、競技の前後、退場時には手洗い及び消毒を実施する。
- ③ 座席やサブグラウンド、招集所での密を避ける。
- ④ 食事中はしゃべらない。
- ⑤ 声を出しての応援はしない。
- ⑥ メインスタンド下へは緊急時などの用事あるとき以外は入らない。

2 運営について

(1) スタンドの使用について

- ①競技者の密を避けるため、メインスタンドは一般、バックスタンドは中学生席とする。
- ②のぼり、横断幕の設置はしない。

3 各部署での感染症対策

(1) アナウンス

- ①適宜、ソーシャルディスタンスの確保やマスク着用の注意喚起アナウンスを行う。
- ②ごみの持ち帰りについてアナウンスを行う。
- ③競技会の感染防止対策についてアナウンスを行う。
- ④使用するマイクは適宜除菌・消毒する。使用者が代わる場合は必ず行う。
- ⑤各自使用する PC を固定し、使用者が代わる時にはキーボード等を除菌・消毒する。
- ⑥アナウンサー同士の距離が保てない場合はフェイスガードを使用する。

(2) スターター

- ①用器具の消毒を徹底する。
 - ア ピストルは、移動時及び競技会終了後にアルコール消毒液による消毒を行う。
 - イ スターターキットは、競技会終了後にアルコール消毒液による消毒を行う。
 - ウ スターティングブロックは、各競技終了時にアルコール消毒液による消毒を行う。
 - エ マイクは、各競技終了時にアルコール消毒液による消毒を行う。

(3) 決勝審判

- ①役員同士のソーシャルディスタンスを確保する。
- ②トラック種目におけるゴール後の選手への接触は行わない。
- ③用具を使用した場合は、使用後にアルコール消毒液による消毒を行う。
- ④原則、用具の共有はしない。使用者が変わる場合は、その都度消毒液による消毒を行う。

(4) 記録

- ①埼玉陸協 HP に掲載する。

(5) 競技者・出発

- ①すべての競技で現地招集とし、密にならないようにする。
- ②招集を細分化し、密にならないようにする。
- ③用具の共有を避けるために、使い捨ての腰ナンバーカードを使用する。